

「新型コロナの収束」へのコメント（斎藤 武）

この度編集部から次のような意見が寄せられました：

「新型コロナ感染症がインフルエンザと同じ5類扱いになった
2023/5/8以降も、新規患者数の増減はそれ以前と変わっていないよう
に思われる」

以下はこれに対する私からのコメントです：

まず「新型コロナの収束」とは、以前の2類相当扱いから5類扱いに
変わったことを指しています。新型コロナ感染症が完全に無くなったわ
けではなく、インフルエンザ並みの扱いになったということの意味
します。

ここで「感染状況は変わっていない」というご意見は、最近の新型コロナ
ウイルスの変異株 XEC による感染拡大についてのことだと思います。
確かにこの変異株は感染力が強く、感染者数も死亡者数もそれなり
に増加しています。免疫もすり抜けます。しかし重症化は報告されて
いません。私の得た定理は、「ウイルスが変異して感染力 α が強くな
ればなるほどウイルスの毒素は弱くなる（致死率が小さくなる）」と

いうもので、この変異株 XEC についてもこの定理は成り立っていると考えております。XEC の感染率 α は、データが発表されなくなったので計算できないのですが、第 6 波、第 7 波よりは大きく変るはずで、集団免疫閾値 $1 - 1/\alpha$ は 90% を越えるのです。この値は感染者数 I を未感染者数 S の関数とみたときの $I(S)$ のピークを与える点でもあり、したがってこの感染は必ず収束に向かいます。

個人的感想ですが、新型コロナウイルスは動物由来のウイルスなので、いくら毒素が弱くなり普通の風邪並みになったとしても、後遺症が残るやっかいなウイルスではないかと思われまます。この冬は、インフルエンザ、新型コロナ、マイコプラズマ肺炎のトリプル脅威に晒されるといわれています。皆さま、くれぐれもご用心を！